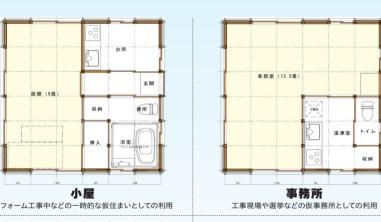
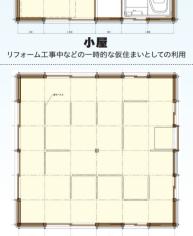


# ストックできる 木造の家

繰返利用が可能/コンパクトな部材 釘・ビス不使用/ユニットは可変性

## FLOOR PLANNING



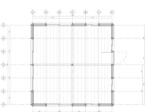


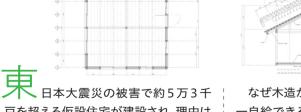
展示スペース 大型のスポーツ大会ややコンサートなどの展示スペースとしての利用

のグリッドに合わせて自由に変更できる。

イベントズペース 用途に応じた区画をして、さまざまなイベントでの利用

# ジュウ・デン・ハウスとは





戸を超える仮設住宅が建設され、理由は いろいろあるがその中でもプレハブでは なく木造による仮設住宅が登場した。被 る。このことは炭素をストックすることに 災地の状況や復興に向けてのニュース を聞くたびに、日本が島国で地震国であ ということもある。そして、木造であれば ることを考えると、ある程度の仮設住宅 をストックしておくことが必要ではない <u>か</u>と思った。

対して、ただストックだけしておくのはナ ンセンスなことだとも思う。そこで、充電 🕴 性化も図れる。 池のように日常で活用しながらストック ウデンハウスである。しかも木造で・・・。 り開発しました。

なぜ木造かというと建築資材として唯 一自給できる素材であること、そして宮 | 崎にはその素材が豊富にあることであ もつながり、地球温暖化にも貢献できる 部材をキット化し接合部を容易にしてや れば建築技術者ではなく一般の人でも 組立ができるようにすることができる。 しかし、いつあるかわからない災害に また、繰り返し利用することで継続的に 森林資源を循環活用でき一次産業の活

ジュウデンハウスは、このような思い **する**ことができないかと考えたのがジュ から木材業界と建築業界のチームによ



BUILDING COMPONENT LIST 1 基本ユニット

> 本ユニットは5.7 m×5.7m(18畳)の中 心に柱が立つ田の字 の軸組と屋根・壁・天

井のパネルで53種類

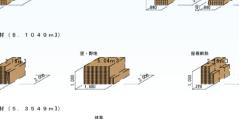
の部材で構成されて

基本ユニット

JuniHous

## STOCK ストック

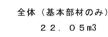
こ の基本ユニットを ストックするために必 要な容積は約22㎡に なる。2.8mの立方体で 概ね、このジュウ・デン・ ハウスの平面の1/4に あたる4.5畳のスペー スが必要になる。





構造軸組材 (4. 4237m3)





## HOW TO BUILD JUDEN HOUSE

内床:杉

仮設住宅にも転用できる田の字プランのユニット → 可変性を持たせる

**積** 5.7m×5.7m(9坪:18畳)

内壁:杉 天井:杉

軒天:杉

繰り返し利用できるユニット …………

開発コンセプト



メイン柱(9本)を立てながら 土台を差し込みレベルを調整する。

大引きを入れ、管柱を立てながら 壁パネルを落とし込む。

ストック容積 約21㎡

→ 釘・ビスを使用しない

→ 部材をコンパクトに統一する

屋根:粘土瓦(オプション)

床断熱を入れ、床パネルを敷き込む。 (オプション)

梁をかける。

重ね梁を下の梁から取付、 その後上の梁を取付ける。 小屋束を立て、母屋を取付ける。



登り垂木を取付ける。

垂木の先端をつなぎ、 外壁上部の面戸板を落とし込む。 断熱パネルを垂木間に落とし込む。

A STATE OF THE PROPERTY OF THE

野地パネルを取付ける。

外壁パネルと建具を取付ける。

屋根を取付ける。 (オプション)